## 「奥田愛基さんと家族への殺害予告」に抗議する声明

安倍晋三政権による「安全保障関連法案」に反対する「自由と民主主義のための学生緊急行動(SEALDs)」の奥田愛基さんと家族の殺害を予告する脅迫状が、奥田さんの属する明治学院大学に届いた。

これは、匿名の脅迫という卑怯で卑劣な犯罪行為によって、自分と異なる主張を圧殺しようとするものであり、良心の自由、言論と表現の自由、集会・結社の自由への真っ向からの否定である。また、大学に届けられたことは、大学を威圧しようとするものであり、学問の自由への侵害である。さらにこの脅迫の不当性について、「国民の生命と安全を守るのが政府の使命である」と強調している安倍政権から何らの防止メッセージが発信されていない不作為に対しても、深い憂慮を表明する。

また、一部マスコミが脅迫を煽るかのように、奥田さんと父親の人格を誹謗中傷するような独断的な記事を書いていることに対しても厳重に抗議し、人権を尊重する慎重な取り扱いを求める。とりわけ、牧師である父のホームレス支援活動を貶め、天皇問題を批判的に論じること自体が悪事であるかのような予断を吹聴していることも、思想・信条の自由を侵害するものである。何であれタブーとせずに対等かつ公正に議論できることこそ自由で民主的な社会の土台である。

これらの脅かされている自由は、憲法が保障しているのはもちろんであるが、 すべての人が「神のかたち」として創造されたという人間存在の尊厳にかかわ ると信じるキリスト者として、最も強い関心を抱かざるをえない。

わたしたちは、脅迫状を出した人物が真摯に自分の罪を悔い改め、奥田さん とご家族、明治学院大学に対して謝罪することを求める。

わたしたちは、このような脅迫に負けないで、誠実に自分の良心にしたがった言動を行っておられる奥田さんとご家族、毅然たる声明を出された明治学院大学に対して敬意を表するとともに、この地に住む人々の平安のために共に祈り、支援していくことを表明する。

2015年10月16日

第65回日本キリスト教会大会